

件名	復命書：第22回丸森町復興推進本部会議		
期間	自令和 4年 10月11日 (火)	場 所	役場2階庁議室
	至令和 年 月 日		
内 容			

1.出席者 別紙のとおり

2.開会（司会：復興対策室長補佐）

3.議題（議事進行：本部長（町長））

（1）令和4年度丸森町復旧・復興計画実施計画書(案)について《説明：復興対策室長》

- ・資料 1-1、1-2 について説明
- ・資料 1-2「実施計画書変更箇所 R3→R4」のとおり昨年度より新たに「4前年度の評価」等、記載事項を追加した。
- ・基本施策 1-1「安らぎのある暮らしの再建」においては、公共施設等の復旧工事が令和2年度に完了し、令和3年度は災害公営住宅等の各事業の推進を計画したが、ソフト事業はコロナの影響もあり、積極的な事業展開が難しく目標を下回る事業もあった。一方で、被災者の生活再建、住宅再建は、「被災者見守り・相談支援事業」や住宅再建支援制度、町独自の住宅再建支援等によりほぼ計画どおり進んでいる。しかし、避難生活の長期化により、精神的不安傾向にある被災者の割合が増加傾向にあるため、今後も町や委託団体のみならず地域も含め連携し、被災者支援や復旧・復興事業全体に取り組んでいく。
- ・基本施策 2-2「災害に強く魅力あふれる町の創造」においては、令和3年度までに道路・橋梁等の災害復旧工事及び機能強化事業に概ね着手し、国、県、町とも早期の完成に向け鋭意取り組んでいる。また、令和元年東日本台風災害時の反省点も踏まえ、地域防災計画の策定（R3.6）、防災マップ（R4.1）、災害対応・避難所運営マニュアルの見直しを行い、防災体制の強化に努めている。
- ・基本施策 3-3「活気あふれる産業・なりわいの再建」においては、令和3年度までに農地・林業関係施設の災害復旧工事に概ね着手し、県、町とも早期の完成に向け鋭意取り組んでいる。また、持続可能な経営体の確保・育成や稲作から高付加価値園芸作物への転換を図る支援を継続して行うことで、農業算出額の増加に繋がっている。ただし、観光、起業関係は、コロナの影響もあり積極的な事業展開が難しく目標を下回る事業もあった。
- ・全体として、概ね計画どおりに進んでいるが、今回目標を下回った指標関連の事業は特に、目標達成に向けて引き続き関係機関と連携し、庁舎内一体となって、各事業の執行に取り組んでいく必要があると感じている。

※次ページに続く

【質疑等】（○：質疑、●：応答）

○総務課長

・実施計画書表紙裏の「丸森町復旧・復興計画実施計画書の成果指標（令和3年度実績）」について、一見目次のようにも見えるため、表にするなど見やすくするよう検討してほしい。

・P4、P26の「6. 復旧・復興期間の取組予定」中の「事業継続計画・受援計画策定」の欄について、令和3年度で完了しているような矢印となっているが、今年度中に各課に照会をかけて完成予定のためR4の中央あたりまで赤矢印を追加するようお願いする。

・P35の「7 事業計画」中の「行幸記念碑及び災害伝承碑建立事業」について、当初は過疎計画を作成する際に総務課で入れたものであるため、担当課も同じく総務課となっているが、先日の打ち合わせどおり、担当課を復興対策室に変更するようお願いする。

●復興対策室長

・指摘のあった部分について修正する。

○危機管理専門官

・P4、P26の「6. 復旧・復興期間の取組予定」中の「事業継続計画・受援計画策定」について「事業継続計画」を「業務継続計画」に変更をお願いする。

・業務継続計画は先々に各課に確認依頼を行い、特に非常時の優先業務について整理を行ったところである。今月中の完成を目指し、現時点のものを各課に送付し、確認をお願いしたいと考えているため御協力をお願いする。

・受援計画も素案はできており、業務継続計画が完成した時点で各課に意見照会し、年内に完成したいと考えているためよろしくをお願いする。

○建設課長

・実施計画書表紙裏の「丸森町復旧・復興計画実施計画書の成果指標（令和3年度実績）」について、今年度の評価を総括して説明していただいたが、口述だけでなくそれをまとめた文書があると分かりやすい。特に復興推進委員会の委員の方はこうした町の計画等について馴染みのない方も多いため、できるだけ分かりやすくしたほうがよい。

●復興対策室長

・分かりやすい資料となるよう検討する。

○建設課長

・P30、31、38の「6. 復旧・復興期間の取組予定」中の町管理道路、河川、農業施設の復旧について、事業期間が令和6年から5年に短縮されたような記載となっている。農業施設、公共土木事業は補助の対象となる期間が令和5年度までとなっており、関係機関で

※次ページに続く

構成される「丸森町復旧・復興事業調整会議」における配布資料ではそのように表記しているが、まだ工事に着手していない箇所もある中で、ここで実施計画として短縮された表現にした場合、工期が伸びた時にまた元に戻すこととなる。

●復興対策室長

- ・指摘のあった部分の表記について、災害復旧対策室、建設課と協議する。

○農林課長

・先ほど説明いただいた、P38の「3 成果」中の「農業産出額（千万円）」の増加した要因について、園芸作物が増えたことによる増加といった表現に聞こえたが、実際は全体の農業産出額としては目標値を達成しているものの、園芸特産のみ目標を下回っているため、誤解を与えないような説明をお願いします。

・P16の「各施策名（項）」の「（5）被災者及び児童・生徒の身体のケア」中の「身体」の読みについて、「しんたい」ではなく「からだ」と読むこととしているためそのようにお願いします。

●復興対策室長

- ・誤解を与えないような表現とする。

（2）復旧・復興の進捗状況について《説明：復興対策室長》

- ・資料 2-1、2-2 について説明
- ・資料 2-1P2 の町ハード事業について、農地及び農業施設の発注が完了した。
- ・資料 2-1P7 の内水氾濫対策について、直接放流管の完了予定が令和 5 年度から令和 6 年度となった。

【質疑等】（○：質疑、●：応答）

○建設課長

・資料 2-1P6 の仮設住宅入居者の再建状況について、前回からの増減が記載されていないため修正をお願いします。

●復興対策室長

- ・指摘のあった部分について修正する。

○建設課長

県農地の着工件数が 3 件増加しているが、これは馬淵橋の橋梁工事を含んだものか。

●復興対策室 清水

・県の農地復旧工事についてはお見込みのとおりである。馬淵橋上部工及び下部工、不動頭首工の計 3 件着工している。

※次ページに続く

○建設課長

・資料 2-1P8 の国道 349 号別線整備について、既にトンネルを着工しているが、今回着工延長の追加はないのか。

●復興対策室 清水

・宮城南部復興事務所に確認したところ、トンネル 2 箇所は既に着工しているものの、それをもって全てのトンネル工事区間を全て着工済とすることは、実際の工事状況とあまりにも乖離するため、全てを着工延長として表記することはできないとのことだった。今後のトンネル掘削の進捗によって、着工延長に追加していく予定である。

※現在の着工延長は 30m 程度（会議終了後確認）

○建設課長

・資料 2-1 は前回（令和 4 年 6 月 30 日時点）との比較をカッコ書きで表記しているが、復興推進委員会は年に 1 回のため、委員の方から見ると前年からどのように変わったか分かりづらいように思う。

・資料 2-2 の P3 について、前月と比較した現在の入居状況だけでなく、当初からどれだけ減少しているか、わかるように記載した方が伝わりやすいと思う。

●復興対策室長

・委員の方に伝わりやすいような資料となるよう検討する。

○危機管理専門官

・資料 2-1P7 の内水氾濫対策中の事業の効果について、事業完了後も床下浸水 1 件が残る想定となっている。以前この 1 件は給食センターの一部（管理棟の一部）ということで聞いているが、内水対策を行っても 100%完了にならないような表現で良いか。

●建設課長

・この数字で補助事業を申請しているため、変えることはできない。給食センター本体は基礎が高く、浸水対策が取られている。給食センター地内で、災害発生の恐れがあるとき排水処理を行う箇所が一部低くなっており、その付近に立っている管理棟の一部が床下浸水になってしまうということである。

●復興対策室長

・町民に誤解を与えないような表記に修正する。

（3）次代につなぐ新たな丸森（まち）づくりマップについて《説明：復興対策室長》

・資料 3 について説明

・令和元年東日本台風からの復興に関する主要事業を一枚のマップで表したものである。

※次ページに続く

- ・ 9月28日の南部復興事務所による砂防シンポジウムにて掲示した。明日の追悼式の記者会見や復興推進委員会でも使用する予定である。
- ・ 今後は公共施設のほか、事業所や工事業者等の関係機関への配布を検討している。

【質疑等】（○：質疑、●：応答）

○町長

・ 先日フレスコキクチの方が協定締結に来られた際に、店舗に貼っていただくことについて了解をいただいた。そういった町内のスーパーなど人目につくところでの掲示は考えているか。

●復興対策室長

・ 町内店舗等への掲示について商工会に御協力をお願いする予定である。また、349号の別線整備を掲載していることから、町内に工場等を持つ企業にも御協力いただきたいと考えている。

○副町長

・ 住民向けに配る予定はあるか。

●復興対策室長

・ 何人かの区長からは欲しいという声をいただいているため、町政懇談会ではA3版の物を配布予定である。全戸配布は現在のところ予定していない。

○町長

・ 雉子尾川復旧工事について、掲載されている写真は大体どのあたりか。

●復興対策室長

・ 大河原土木事務所に確認する。

※長門前橋（大内佐野東）付近（会議終了後確認）

4.その他

・ 「令和4年度丸森町復旧・復興計画実施計画書」について、修正等ある場合は17日（月）までに連絡をお願いします。（復興対策室長）

※以上